

【情報化戦略】 行政における戦略的AI活用コンサルティング

AI活用による行政業務の効率化・高度化の実現

1. 戦略的AI活用の背景

現在、AI（Artificial Intelligence；人工知能）は国内外において社会、産業のさまざまな分野での導入に関心が寄せられています。既に一部の自治体では、職員の業務効率化や住民サービスの向上、地域課題の解決に向けてAIを活用する事例が出てきており、今後はより多くの自治体でAIの導入が進められていくことが期待されます。（自治体におけるAI活用・導入ガイドブック（総務省））

行政におけるAI導入に関する課題

- ✓ AIを具体的にどのような分野や業務に取り入れれば効果があるかわからない
- ✓ 庁内の検討体制をどのように構築していけばよいかかわからない
- ✓ 保有するデータ（個人情報、庁内の機密情報）の取り扱いが難しい
- ✓ AI導入にかかる市民や議会からの理解、予算要求・庁内調整が大変
（自治体におけるAI活用・導入ガイドブック（総務省））

2. ご提案の趣旨

AIの導入による業務変革のシナリオの作成し、試行・評価のサイクルを繰り返すことで貴団体における業務の効率化や高度化を図ります。

提案の4つのポイント

- ① **AI活用による業務改革**
➡ AI活用による業務の効率化・高度化
- ② **現場におけるユースケースの検証**
➡ 現場に根付いた業務改革案の作成
- ③ **モニタリングによるKPI評価**
➡ 試行・評価のサイクルによる導入効果の評価、改善
- ④ **アフターフォローによるAI活用の定着化**
➡ AI構築後も継続支援

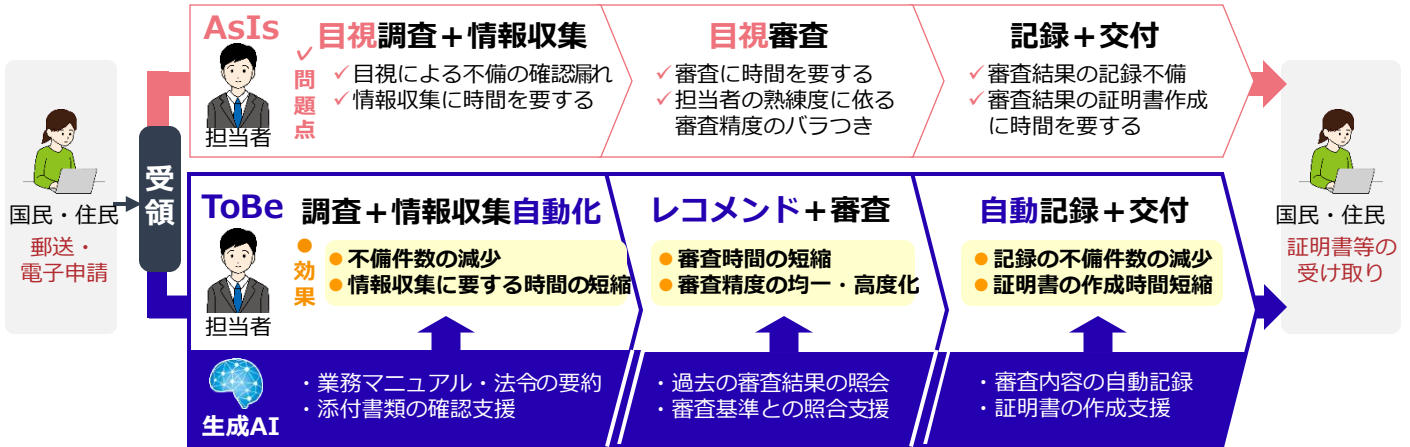
試行・評価のサイクル



3. ユースケース

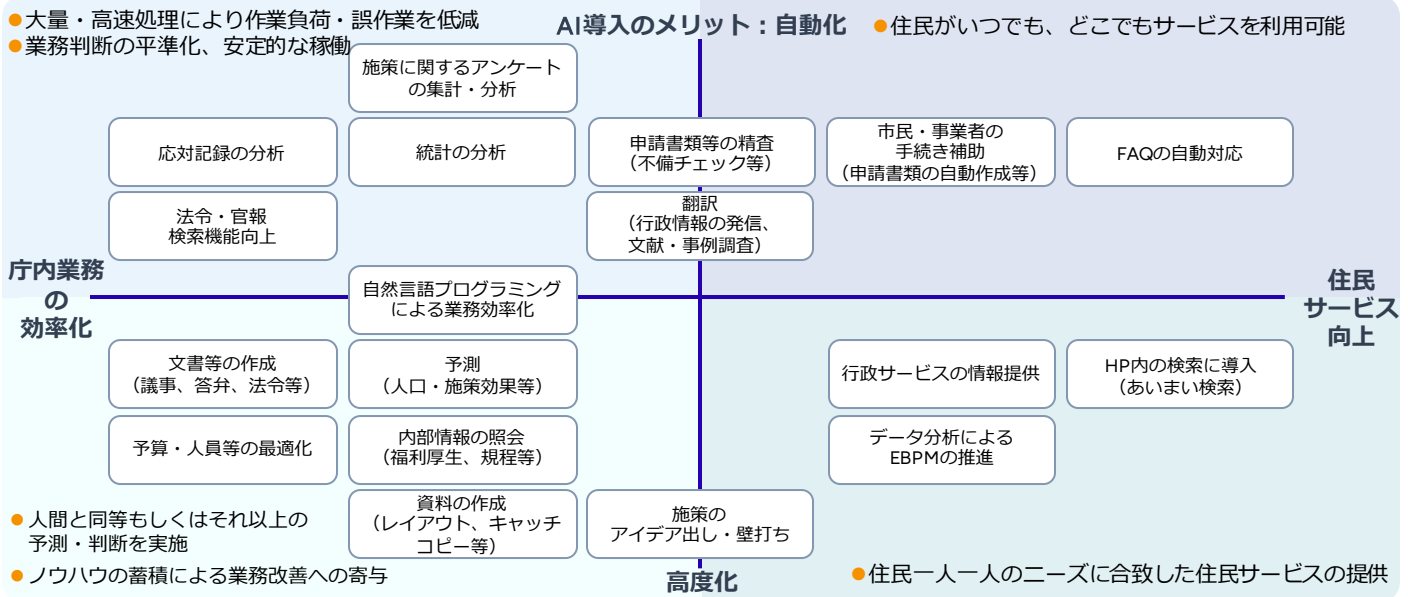
現場の業務 (AsIs)の問題点と、AI導入によるの改善後の業務(ToBe)の効果をユースケースとして検証することで、現場に根付いた業務変革の推進を支援します。

■ 「生成AI」×「行政手続き」のユースケース例



4. AI適用マップ

行政手続き以外にも様々なユースケースでAIの導入が検討できます。AI導入により、大規模定型処理の自動化や、専門知識を持つ人間と同等またはそれ以上の高度な判断等を通じて、庁内業務の効率化や住民サービスの向上の実現に繋がります。



5. 戦略的AI活用コンサルティングの進め方

構想策定やプランニングにとどまらず、お客様とともにAI活用の試行・実施を繰り返すことで、成果の創出とAI活用の定着を支援します。

	構想		計画		試行・実施		評価
作業工程	1. 業務改革テーマの選定	2. ユースケースの分析	3. データ活用シナリオの策定	4. アクションプラン策定	5. データ活用シナリオの試行	6. ロードマップに基づく段階的实施	7. モニタリング・評価
内容	<ul style="list-style-type: none"> 外部環境分析 内部環境分析 改革テーマ選定 改革目標設定 	<ul style="list-style-type: none"> 対象業務の人と作業、情報の分析 対象業務の問題・課題の把握 	<ul style="list-style-type: none"> データ活用シナリオの作成 業務改革案の作成 KPI設定 	<ul style="list-style-type: none"> 戦略マップ、改革テーマ定義 戦略的データ活用方針の検討 ロードマップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> データ活用シナリオの試行 AI導入支援 試行結果の評価 	<ul style="list-style-type: none"> 戦略的データ活用による業務改革の実行 AI活用定着化支援 	<ul style="list-style-type: none"> KPIモニタリング 成果評価、改善

お問い合わせ先

株式会社富士通総研

公共デジタル戦略グループ E-mail: fri-pds-webmaster@cs.jp.fujitsu.com

〒144-8588 東京都大田区新蒲田1-17-25 富士通ソリューションズスクエア